

# 【週刊タバコの正体】

Vol.49 第1話～第2話

2021年04月

和歌山工業高校 奥田恭久

## ■Vol. 49

(No. 662) 第1話 どうしてでしょうか

一命に関わる病気になるのにどうしてタバコなんか...

新入生の皆さん、ようこそ和工へ。これからは高校生として自覚と責任を持って生活ができるよう、少しずつ頑張ってください。上級生の皆さんも一つ学年があがった分、さらにしっかりした自覚を持って後輩に良い手本を示せるよう心がけて欲しいと思います。

いま世界は新型コロナウイルスの猛威にさらされています。いろんな場面で人と人が接することが制限される対策がとられているので、社会全体のさまざまな活動が停滞し私たちも不便な日常生活を強いられています。人々の命や健康を守るためには、不便な生活を続けなければならないでしょう。

さて、人々の命を奪う病気はウイルスではありません。左下のがん死亡者数のグラフを見てください。国立がん研究センターのデータによると、現在年間35万人以上の方ががんで亡くなっています。がんが直接の死因ですが、その病気になる原因も気になります。

そこで、もう一つのグラフを見てください。じつは、病気で命を落とす最大の原因はタバコなのです。

タバコは体に良くないことは、ほとんどの人が知っています。にもかかわらずタバコを吸っている人は少なくありません。どうしてでしょうか。

年間13万人もの人が亡くなる原因となるほどタバコは危険なのでしょう。どうしてタバコはやめられなくなるのでしょうか。そんな事を知ってもらい、君たちに健康な人生を送ってもらうためにタバコの事を、これから毎週少しずつ勉強してもらいます。

(No. 663) 第2話 どうかしている

一まるで「毒の缶詰」を口にしてているなんて...

「タバコは健康に悪い」ことはよく知られています。皆さんもすでによくわかっていると思います。でも「どのくらい健康を害するのか」を詳しく知っているでしょうか。そもそもタバコの煙には一体どんなものが含まれているのかを答えられる人は少ないと思います。

そこで、下図を見てください。タバコの煙にはダイオキシン、ニコチン、ベンゼンなど、およそ人が口にするはずがないような有害物質が含まれています。その種類は200種類とも250種類と言われるほど多く、「タバコは毒の缶詰」と呼ぶ人もいます。「そんなものを毎日吸い続けるなんて、どうかしている」と思わずにいらませんが、世間にはそんな風潮はなく、タバコを吸う人は珍しくないのが不思議ですよね。

喫煙者は、そんな有害物質を毎日吸い込むわけですから健康を害しないわけがありません。当然、タバコのせいで病気になる確立が高くなりますよね。一番下の図にあるように、喫煙者ががんになる確率は、喉頭(こうとう)がんで32.5倍、肺がんで4.5倍、口腔(こうくう)・咽頭(いんとう)がんで3倍にも高くなるそうです。

こんな事を知ると、ますます「タバコなんか吸うのはどうかしている」と思いませんか。健康な人生のためには、タバコは必要ありません。

## Volume 49 週刊 タバコの正体 第1話

新入生の皆さん、ようこそ和工へ、これからは高校生として自覚と責任を持って生活ができるよう、少しずつ頑張ってください。上級生の皆さんも一つ学年があがった分、さらにしっかりした自覚を持って後輩に良い手本を示せるよう心がけて欲しいと思います。

いま世界は新型コロナウイルスの猛威にさらされています。いろんな場面で人と人が接することが制限される対策がとられているので、社会全体のさまざまな活動が停滞し私たちも不便な日常生活を強いられています。人々の命や健康を守るためには、不便な生活を続けなければならないでしょう。

さて、人々の命を奪う病気はウイルスではありません。左下のがん死亡者数のグラフを見てください。国立がん研究センターのデータによると、現在年間35万人以上の方ががんで亡くなっています。がんが直接の死因ですが、その病気になる原因も気になります。

そこで、もう一つのグラフを見てください。じつは、病気で命を落とす最大の原因はタバコなのです。

タバコは体に良くないことは、ほとんどの人が知っています。にもかかわらずタバコを吸っている人は少なくありません。どうしてでしょうか。年間13万人もの人が亡くなる原因となるほどタバコは危険なのでしょう。どうしてタバコはやめられなくなるのでしょうか。

### 日本人が命を落とす最大の原因がタバコ

わが国におけるリスク要因別の関連死亡者数

男女計(2007年)上位5位



13万人死亡 (SMART LIFE PROJECT) HPより

そんな事を知ってもらい、君たちに健康な人生を送ってもらうためにタバコの事を、これから毎週少しずつ勉強してもらいます。



産業デザイン科 奥田 恭久

## Volume 49 週刊 タバコの正体 第2話

「タバコは健康に悪い」ことはよく知られています。皆さんもすでによくわかっていると思います。でも「どのくらい健康を害するのか」を詳しく知っているでしょうか。そもそもタバコの煙には一体どんなものが含まれているのかを答えられる人は少ないと思います。

そこで、下図を見てください。タバコの煙にはダイオキシン、ニコチン、ベンゼンなど、およそ人が口にするはずがないような有害物質が含まれています。その種類は200種類とも250種類と言われるほど多く、「タバコは毒の缶詰」と呼ぶ人もいます。「そんなものを毎日吸い続けるなんて、どうかしている」と思わずにいらませんが、世間にはそんな風潮はなく、タバコを吸う人は珍しくないのが不思議ですよね。

喫煙者は、そんな有害物質を毎日吸い込むわけですから健康を害しないわけがありません。当然、タバコのせいで病気になる確立が高くなりますよね。一番下の図にあるように、喫煙者ががんになる確率は、喉頭(こうとう)がんで32.5倍、肺がんで4.5倍、口腔(こうくう)・咽頭(いんとう)がんで3倍にも高くなるそうです。



こんな事を知ると、ますます「タバコなんか吸うのはどうかしている」と思いませんか。健康な人生のためには、タバコは必要ありません。



産業デザイン科 奥田 恭久

毎週火曜日発行



URL: [https://www.jascs.jp/truth\\_of\\_tabacco/truth\\_of\\_tabacco\\_index.html](https://www.jascs.jp/truth_of_tabacco/truth_of_tabacco_index.html)

※週刊タバコの正体は日本禁煙科学会のHPでご覧下さい。  
 ※一話ごとにpdfファイルで閲覧・ダウンロードが可能です。  
 ※HPへのアクセスには右のQRコードが利用できます。

